

市民提案型協働事業実施計画書

協働事業名	郷土の偉人 童謡詩人「清水かつら」 ～幻の「大和音頭」を探せ！～
事業目的 (現状、課題及び提案理由等)	提案理由その 1 は、和光市議会会議録(和光市平成 24 年 3 月定例会 3 月 14 日－07 号)による。以下、より抜粋、 ◆ 7 番（阿部かをる議員） 私は、和光市に在住して約 30 年になりますが、最近白子村の歌、そして大和音頭という歌があることを知りました。 白子村の歌は、明治 43 年、白子尋常小学校の教師の方がつくられ、広く当時の児童に歌われたものであります。歌詞を見ると本当に村の様子がとてもよくわかるような内容になっております。大和音頭は、昭和 22 年、当時の青年会で募集し、清水かつらが審査、そして清水かつらが補作詞して、でき上がりました。その青年会は大和会という名称で今も続いているようであります。清水かつらの童謡と、和光にはすばらしい歌の文化があります。 ◎市長（松本武洋） 今、大和音頭を取り上げていただいて、非常にありがたいなというふうに思いました。今、和光音頭はテープがあって、それで踊ることができるんですけども、大和音頭を踊るときには、実際にテープもなく、太鼓を和光太鼓の皆さんがたたいて、そして歌える方が歌って、それで盆踊りをするというふうな状況でございます。これについては何とかどこでも気軽に大和音頭が踊れるような状態というのを、私も何らかの形でつくっていきたいなと思っていたところでございますので、ぜひこれを機に各議員さんにも認識していただきたいなということで、まず、それを申し上げます。 提案理由その 2 は、平成 29 年 6 月 17 日、岡田雷太(元和光市議会議員)氏より、昭和 22 年当時の「大和音頭」に関する資料を、和光白子文化の会に寄贈されたこと。また、市民が所有所蔵している昭和 34 年に大和町教育委員会制定歌として新たに作られたレコード「大和音頭」について、古くから和光

	に住まわれている方々の中で、その存在を知っており、懐かし く公開を望む意見も当会で伺っている。今後、発見されたレ コード音源のデジタル・アーカイブを生成し、さらに、個人蔵 の郷土ゆかりの童謡詩人「清水かつら」が生前出版された雑誌 やレコード等についての一次資料も記録保存を行う。 以上の提案理由により、和光市の財産である郷土資料の充実 として、これら貴重な資料を図書館の郷土資料(書籍、視聴覚 資料)として保存することにより、地域コミュニティの活性 化、「和光市に住み続けたい」と実感し、「和光市教育大綱」 の基本方針にもある、郷土愛を育めればと願い、「和光市図書 館地域資料収集方針」に定められた、和光市に関する資料は複 本を除き、原則として除籍しないものとする、郷土資料記録保 存を本事業の目的とした。	
事業内容	事業内容 市民の郷土資料として、下記２点を図書館に保存すること １． 音媒体物：「白子村の歌」(新規録音) 音媒体物：「大和音頭」(昭和２２年版)(新規録音) 音媒体物：「大和音頭」(昭和３４年版)(音源複製) ＣＤ－Ｒ １０枚 配布先(図書館) ２． 紙媒体物：冊子(資料、歌詞、譜面、踊り方等)、 (市民が所有する清水かつら作品資料一覧) Ａ４判 一部カラー 約３２頁 ２００部 配布先(市役所、図書館、公民館、コミュニ ティ施設、小中学校図書室、自治会、地区社 協、社会福祉協議会など)	
役割分担	団体 新規演奏録音作業、成果物作 成 冊子作成	行政 新規録音のための市施設利用 市民所有レコードを借りる 図書館保存格納、ライブラリ 業務
協働の必要性	団体 当団体各会員のスキルと関連 団体とのパイプを活かせる	行政 情報提供の場(図書館、デジタ ルミュージアム等)を提供して 頂く

年間スケジュール (別添可)	2020年7月：清水かつらイベント(開催予定 中間報告) 11月：「和光市民まつり」(大和音頭 披露) 2021年2月：「和光白子文化の会」講演会(最終報告)		
事業の実施体制(関係者、有資格者等)	新規録音(公益財団法人和光市文化振興公社) 演奏者(市内児童合唱団、和太鼓会など 選定予定) アナログ・データ変換(レコードからデジタル・データ 未定) 冊子(清水かつら研究家の別府 明雄先生 監修予定) 冊子(デザイナー、ライター、印刷、製本 未定)		
協働の成果	団体 和光市郷土ゆかりの人物の顕彰に貢献	市民 郷土の歴史を共有。地域コミュニティの活性化	行政 郷土資料の充実と「童謡のまちづくり」の推進とシティプロモーション
成果指標	第四次和光市総合振興計画基本構想、施策26「創造的な文化の振興」、文化に対する市民満足度を令和2年度目標値(28.8パーセント)より高い値を目指したい。また、「和光市市民意識調査(令和元年10月)」より、「白子宿などの歴史的資源、文化財などの和光市の個性を伝える資源」の値も向上に、また、シビックプライドの価値を育みたい。		
事業と関連する団体の特徴及び活動実績	長年にわたり白子地域の顕彰・普及・発信等の活動を活発に行っていた市民団体「NPO法人 和光・文化を育む会」が平成28年3月を以て解散となった。前会員の関口泰典を新会長とし、行政から人選提案された人物(多方面で、文化振興に関して行政と関わってこられた代表者でもある。)により、行政と市民で共に、和光の文化振興を志す熱意のある集団、新団体「和光白子文化の会」が、同年6月に設立。現在、前団体より志を引き継いぎ、市とパートナーシップ協定を締結し協働で活動を行っている。		
事業終了後の展望	和光市図書館において、市民と連携・協力した郷土資料等の収集・保存に寄与でき、地域文化資源の保存・継承・発信等によって、地域コミュニティの活性化や地域文化の向上、生涯学習等に活用。また、市ゆかりの文化人等を活用した知名度の向上、シティプロモーション推進にも繋がる。		

※ A4サイズ3ページ以内で、できるだけわかりやすく、具体的に記載してください。

年間スケジュール

成果物・制作	和光白子文化の会・P R (報告)
2020年	2020年
4月 冊子原稿準備 レコード複製作業 演奏者打ち合わせ	
	7月 清水かつらイベント (開催予定 中間報告)
8月 録音作業 (児童・生徒の夏休み)	
9月 録音・編集作業 C D制作(10部)	
12月 冊子印刷・製本 (200部)	11月 「和光市民まつり」 (市民コンサート 披露)
2021年	2021年
1月 図書館等配布	
	2月 「和光白子文化の会」講演会 (最終報告)